

## 中枢神経・末梢神経局在診断支援システム『Focus Ferret』

桐山 佳久 (株)システム ラボ ムラタ  
加茂 久樹 医療法人 和交会 太秦病院  
兼田 浩三 (株)システム ラボ ムラタ  
三添 朗宏 (株)システム ラボ ムラタ

### 1. はじめに

現在、神経診断のために採られている最も一般的な方法は、パターン認識によるものです。すなわち、「どの部位に症状があればこのような症状が出る。だからこれらを覚えておいて、どれにあたるかを考えればいい」という考えに基づいており、神経科医は無限に近い症例を記憶しておかなければならず、豊富な経験と勘に加えて膨大な知識と検証が必要とされます。

しかし、実際に医師の目の前に出現するのは患者さんの症状であり、この症状を出発点とし帰納的に責任病巣と疾患にたどり着くといった局在診断の方法が必要とされています。

中枢神経・末梢神経局在診断支援システム『Focus Ferret』では、簡単な操作で神経所見や症状・障害有無・程度を入力することで、それに関わる神経経路がビジュアルに表示されます。これにより医師は迅速且つ正確に局在診断を行うことが可能となります。

### 2. 中枢神経・末梢神経局在診断支援システム『Focus Ferret』の紹介

『Focus Ferret』の主な機能を以下に示します。

#### 中枢神経系

神経所見を元に該当する項目を入力し、該当する責任神経経路を表示します。

複数の所見入力から病巣部位を自動的に推測し表示します。相互にリンクした病理図・高位図・CT/MRI 画像等を自由に配置・表示することができます。



#### 末梢神経系 . . . 運動系機能



日本整形外科学会・日本リハビリテーション医学会の指定する方法に基づいて、関節可動域・筋力テスト結果・筋電図試験結果等を入力し、該当する責任神経経路を表示します。関節単位・筋肉単位の責任神経経路表示の他、筋電図の結果等を元に陰性消去を行った責任神経経路を絞り込み表示ができます。

#### 末梢神経系 . . . 知覚系機能

感覚障害のある部分をカルテに記入するイメージで入力できます。入力画面の縮尺を変更することで、指先の痺れなどの細かい入力も可能です。

入力された異常知覚の範囲に該当する責任神経経路が自動的に表示されます。根性・末梢神経性デルマトームの表示 / 非表示もそれぞれ独立に切り替えることができます。

